4 資 審 第 10 号
令和4年7月 26 日

農業資材審議会長
赤松 美紀 殿

農林水産大臣 金子 原二郎

組換え DNA 技術応用飼料添加物の安全性に関する確認に係る諮問について

下記の飼料添加物の安全性について、組換え DNA 技術応用飼料及び飼料添加物の安全性に関する確認の手續（平成 14 年 11 月 26 日農林水産省告示第 1780 号）第 3 条第 2 項の規定に基づき、貴審議会の意見を求める。

記

- ・ JPAo012 株を利用して生産されたフィターゼ
- ・ JPBL011 株を利用して生産された α -アミラーゼ
- ・ *Trichoderma reesei* RF5427 株を利用して生産されたキシラナーゼ

5 消安第 2200 号
令和 5 年 7 月 12 日

農業資材審議会長
君嶋 祐子 殿

農林水産大臣 野村 哲郎

組換え DNA 技術応用飼料の安全性に関する確認に係る諮問について

下記の飼料の安全性について、組換え DNA 技術応用飼料及び飼料添加物の安全性に関する確認の手續（平成 14 年 11 月 26 日農林水産省告示第 1780 号）第 3 条第 2 項の規定に基づき、貴審議会の意見を求める。

記

- ・ コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(DP51291)
- ・ コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON95275 系統

4 消安第 3261 号
令和 4 年 9 月 28 日

農業資材審議会長
赤 松 美 紀 殿

農林水産大臣 野村 哲郎

飼料添加物の指定並びに製造の方法等の基準及び成分の規格等の設定
等に係る諮問について

飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律(昭和 28 年法律第 35 号。
以下「法」という。)第 2 条第 3 項及び第 3 条第 2 項の規定に基づき、下記
の事項について貴審議会の意見を求める。

記

- 1 法第 2 条第 3 項の規定に基づき、アセチルシステインを飼料添加物として指定すること。
- 2 法第 3 条第 1 項の規定に基づき、アセチルシステインの成分規格及び製造の方法等の基準を設定すること。
- 3 法第 3 条第 1 項の規定に基づき定められたグアニジノ酢酸を含む飼料に係る飼料一般の成分規格並びに製造の方法の基準を改正すること。
- 4 法第 3 条第 1 項の規定に基づき定められたムラミダーゼを含む飼料に係る飼料一般の製造の方法の基準を改正すること。

5 消安第 4255 号
令和 5 年 10 月 25 日

農業資材審議会長
君嶋 祐子 殿

農林水産大臣 宮下 一郎

飼料の基準及び規格の改正に係る諮問について

飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律（昭和 28 年法律第 35 号）
第 3 条第 2 項の規定に基づき、下記の事項について、貴審議会の意見を求める。

記

動物由来たん白質又は動物由来たん白質を原料とする飼料の基準及び規格の
一部改正について（馬、豚、鶏又はうずらを対象とする飼料に含むことができる
動物由来たん白質として、牛、めん羊又は山羊に由来する肉骨粉等を追加）

5 消安第 4230 号
令和 5 年 10 月 25 日

農業資材審議会長
君 嶋 祐 子 殿

農林水産大臣 宮下 一郎

飼料一般の表示の基準の改正に係る諮問について

飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律（昭和 28 年法律第 35 号）
第 3 条第 2 項の規定に基づき、以下の事項について、貴審議会の意見を求める。

記

- 1 法第 3 条第 1 項の規定に基づき定められた飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令（昭和 51 年農林省令第 35 号。以下「省令」という。）別表第 1 の 1（5）飼料一般の表示の基準の（注）1 の飼料添加物の名称の表示について、表示に用いることができる名称（一般名）を定めた表を、通知で定めるよう、改正を行うこと。
- 2 法第 3 条第 1 項の規定に基づき定められた省令別表第 1 の 1（5）飼料一般の表示の基準の（注）2 の飼料添加物の量の表示のうち、プロピオン酸、プロピオン酸ナトリウム、プロピオン酸カルシウム、ギ酸及びフマル酸の表示について、当該成分が飼料を製造するための原料又は材料に含有されている場合
に限り、当該含有量の表示を行うよう、基準を改正すること。
- 3 その他所要の改正を行うこと。

4 消安第 5743 号
令和 5 年 2 月 6 日

農業資材審議会長
赤 松 美 紀 殿

農林水産大臣 野村 哲郎

飼料添加物の指定並びに製造の方法等の基準及び成分の規格等の設定
等に係る諮問について

飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律(昭和 28 年法律第 35 号。
以下「法」という。)第 2 条第 3 項及び第 3 条第 2 項の規定に基づき、下記
の事項について貴審議会の意見を求める。

記

- 1 法第 2 条第 3 項の規定に基づき、3-ニトロオキシプロパノール及びカシューナッツ殻液を飼料添加物として指定すること。
- 2 法第 3 条第 1 項の規定に基づき、3-ニトロオキシプロパノール及びカシューナッツ殻液の成分規格及び製造の方法等の基準を設定すること。
- 3 遺伝子組換え技術によって得られた *Trichoderma reesei* から産生されるキシラナーゼを飼料添加物として製造等することができるよう、法第 3 条第 1 項の規定に基づき定められたキシラナーゼの製造の方法等の基準及び成分の規格について、当該キシラナーゼの基準及び成分の規格を追加する改正を行うこと。